

交流

平成元年T・R会津高田会設立



東京台東区での物産展

会津高田町と東京・台東区は、戦争中の学童疎開を機縁として住民同士が交流の輪を結び、長年にわたって友情を深めました。昭和六十一年には友好都市が締結されました。文化的な行事や自然の中のふれあいを通して、一層の交流を進めるとともに、住みよい地域社会と住民福祉向上のために互いに努力することを目的としています。また、ふるさと会津高田町を離れて、東京圏で生活する人たちによって、T・R会津高田会が結成され「ふるさと交流の旅」や町の特産品を宅急便で送る「ふるさと便」などの活動も展開しています。

一方、町では中学生を海外に派遣し、異国の歴史、文化、風習等に触れることにより国際的見聞を広め、交流を深めるとともに、その体験を将来の人生に生かす得る人材を育成するため「町民海外派遣事業」では、中学生をカナダ、アメリカなどに派遣しています。その貴重な体験は町に新風を巻き起こしています。

もっと魅力的にグローバルな町を目指して
二十一世紀に向かっの国際交流化



ふれあいツアー（後継者対策事業）

会津盆地のほぼ中央部に位置する会津高田町と会津本郷町、新鶴村、北会津村の四町村が、平成五年十二月に、それぞれの町村の頭文字をとり、真ん中に郷土愛・知性の「I」を入れて、THINK機構を設立しました。四町村がこれまでの社会的、文化的な交流を基礎として、行政面でそれぞれの独自性を保ちながらも積極的に協力し合い、一つのエリアとしての振興を図ろうというものです。

